

ワールドカップがおわり

この社内報が発行される頃には、W杯はもう終わっていますが、(この原稿はロシア戦後に書いています)今回の日本の躍進は目を見張る物がありました。個人技、体格、経験が上回るヨーロッパの強豪に対し、戦術と気合(魂)で凌駕した戦い振りは永遠に私たちの記憶に残るものだと思います。



専務取締役 吉田治伸

普段サッカーとあまり接する機会がないので気付きませんでした。連日、観戦していると、サッカーにおいて「監督」の役割が非常に大きい事に気付きました。監督が戦術を決め、戦術に従い練習し、その戦術を実現できる11人を選び、その戦術に従って試合をするのです。試合が始まってしまえば、やるのは選手ですから、選手の力量とやる気にかかってきます(当然一番重要なのは選手ですが)。

もし、ここで戦術を決める事のできない監督がいたり、選手がルールを守らなくてもヘラヘラ笑っている監督、試合中眠っていて選手の動きに興味のない監督がいたらどうなるでしょう。そんなチームは勝つはずがありません。

先日、何10年も頂いていた警備の仕事が頂けませんでした。理由は警備員の座硝時の喫煙が見つかったのと、持ち場を離れて道案内していたからです。これは、運が悪いのではありません。こんな基本的な事で問題が起きるのは、会社がたるんでいるせいです。深く反省しております。

現場が私たちのW杯です。私の夢は、仕事を通じてお客様に感動をお届けする事です。今年の私たちの戦術は、「笑顔・挨拶・報連相」を軸に今年のスローガンの実行です(各仕事の基本的なルールはいうまでもありませんが)。

さわやかな感動を残した日本チーム同様頑張りましょう。

暑い日が続きますが、お体には気をつけて、ご自愛されます様お願い致します。